

道路建設事業の再評価項目調書

事業名	一般国道2号 <small>おづき</small> 小月バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自： <small>やまくち</small> 山口県下 <small>しものせき</small> 関市 <small>まつや</small> 松屋 至： <small>やまくち</small> 山口県下 <small>しものせき</small> 関市 <small>かめはまちよう</small> 亀浜町	延長	5.8 km		
事業概要	<p>一般国道2号は、<small>おおさか</small> 大阪市を起点とし、<small>きたきゅうしゅう</small> 瀬戸内海沿岸の諸都市を連絡し、北九州市に至る延長約670kmの主要幹線道路である。</p> <p><small>おづき</small> 小月バイパスは、交通混雑の緩和、交通安全の確保などを目的とした道路である。</p>				
H20年事業化	S48年度都市計画決定 (H14年度変更)	-		H20年度工事着手	
全体事業費	約111億円	事業進捗率	37%	供用済延長	2.4 km
		(H23年度末現在)			
計画交通量	41,000~52,000 台/日				
費用対効果 分析結果	B/C:(3便益) (事業全体) 2.6 (残事業) 3.0	総費用: (事業費:55/103億円 維持管理費:12/19億円) (残事業)/(事業全体) 67/122億円	総便益: (走行時間短縮便益:175/278億円 走行費用減少便益:16/23億円 交通事故減少便益:9.7/17億円) (残事業)/(事業全体) 201/317億円	基準年: 平成24年	
感度分析の結果	<p>(事業全体) 交通量: B/C=2.2~3.0 (交通量±10%) (残事業) 交通量: B/C=2.6~3.4 (交通量±10%) 事業費: B/C=2.5~2.7 (事業費±10%) 事業費: B/C=2.8~3.3 (事業費±10%) 事業期間: B/C=2.5~2.7 (事業期間±20%) 事業期間: B/C=2.9~3.1 (事業期間±20%)</p>				
事業の効果等	<p>円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・損失時間の削減が見込まれる【30,168千人・時間/年 29,539千人・時間/年 (2.1%削減)】 <p>都市の再生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する【山口県広域道路網マスタープラン】 <p>国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上【下関市王喜地区~下関市役所:36分 30分】 <p>個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模イベントの支援として、国民体育大会(H23.10)の競技会場へのアクセス向上 ・長府庭園(H23年間観光入込客数6.0万人)へのアクセス向上 <p>災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山口県の第1次緊急輸送道路に指定(一般国道2号) ・緊急輸送道路である中国自動車道(下関JCT~下関IC)通行止め時の代替路線を形成 <p>地球環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出削減量が約5.4千t/年【1,516.6千t/年 1,511.2千t/年】 <p>生活環境の改善・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NOX排出削減量が約23.5t/年(約0.6%)削減【3,819.3t/年 3,795.8t/年】 ・SPM排出削減量が約1.4t/年(約0.7%)削減【202.5t/年 201.1t/年】 <p>他のプロジェクトとの関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下関市総合計画(H19年3月)において広域交通連絡網としての整備と位置づけられている <p>環境への配慮を考慮した効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約5.4千t/年のCO2削減量の貨幣換算価値【2.7億円】 供用後50年間の便益額として試算した値(参考値) 				

関係する地方公共団体等の意見

小月バイパスは、慢性的な渋滞の解消や交通事故対策をはじめ、地域を支え、救急活動に不可欠な道路として重要な役割を果たすことが期待されており、下関市長等から構成される「下関市一般国道2号建設整備促進期成同盟会」により、早期整備の要望を受けている。

山口県知事の意見：

異存なし。

平成28年度の供用に向け、コスト縮減等に配慮の上、引き続き計画的に事業を進めていただきたい。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

下関都市圏における国道2号は、沿道地域の開発に伴う交通量の増加により、著しい渋滞や交通事故が発生、中国自動車道の通行止め時の東西移動を支える道路として、4車線化並びにバイパス整備を計画的に実施してきている。

これまでの供用により、^{きよすえひがし}清末東交差点の渋滞は解消したが、4車線から2車線への絞り込み区間などで死傷事故が発生している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

下関市^{きよすえひがしまち}清末東町から下関市^{かめはまちよう}亀浜町間の約2.4kmを供用している。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

投資効果の早期発現を図るため段階的に供用しており、残る区間についても平成28年度の供用を予定している。

施設の構造や工法の変更等

今後の事業実施にあたっては、コスト縮減を図りつつ事業を推進していく。

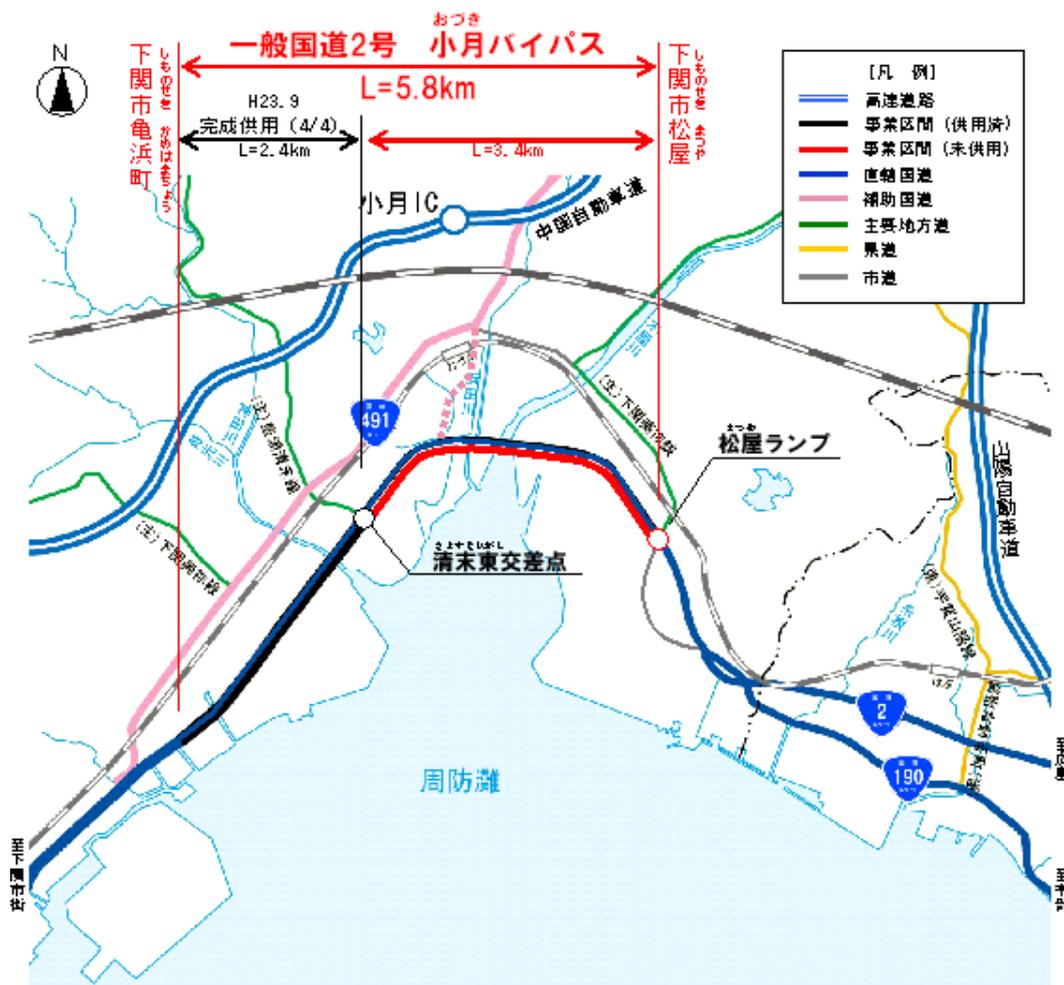
対応方針（原案）

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。